平成30年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議

土壌肥料部会秋季研究会 開催要領

　　関東東海北陸農業試験研究推進会議　土壌肥料部会長

　　中央農業研究センター 土壌肥料研究領域長　　大谷　卓

１．趣旨

近年、農業人口の減少と営農の大規模化，田畑輪換による水田の畑地化が進行し、堆肥施用や深耕等手間のかかる土づくりが疎かになるとともに、畑地化による土壌炭素の減耗など土壌肥料的に懸念すべき方向にある。そこで、手間やコストがかからない土づくり手法として「緑肥」に焦点を当て、関東東海北陸地域における緑肥利用に関する研究の取り組みを紹介し、持続的な土壌管理に貢献するための緑肥研究の方向性、解決すべき課題、および普及に向けた取組みを検討する。また、長野県における園芸作物栽培の状況を視察し、土壌診断に基づく適正施肥および省力・低コスト生産技術の開発に資する。

２．開催日時： 平成30年10月18日（木）13：00　～　19日（金）12：30

３．開催場所：

　研究会 （１日目）

　　　JA全農長野中信事業所　601・602会議室　（長野県松本市深志１丁目４－１）

　現地検討会（２日目）

　　　BB肥料工場・土壌分析室：（株）JAアグリエール長野（長野県安曇野市堀金）

夏秋どりいちご生産施設：JAあづみ　㈲アグリサービス（長野県安曇野市堀金）

りんご高密植栽培ほ場（長野県松本市梓川　農家ほ場）

４．共 催 ： 関東東海土壌肥料技術連絡協議会

５．検討事項：　「緑肥利用の現状と将来展望」

１）緑肥の様々な効果を利用した減肥・土づくり

農研機構・中央農研・土壌肥料研究領域　 唐澤　敏彦

２）緑肥を活用した後作物のリン酸減肥に向けて

千葉県農林総合研究センター　土壌環境研究室　 塚本　崇志

３）イネ科緑肥を利用したレタス減肥栽培

長野県野菜花き試験場・環境部　　 鮎沢　純子

４）長野県中信地区における緑肥の栽培状況について

洗馬農業協同組合・営農経済事業部 宮澤　泰伸

５）マメ科緑肥（ヘアリーベッチ）の特性と利用技術

秋田県立大学　生物資源科学部　　　 佐藤　孝

６）緑肥作物の生産現場への普及と利用事例

雪印種苗株式会社　千葉研究農場 立花　正

７）富山県の水田における緑肥の活用について

富山県農林水産総合技術センター　農業研究所 東　英男

８）総合討議

６．参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、農研機構、その他部会長が認めるもの

７．連絡先

農研機構中央農業研究センター 土壌肥料研究領域 土壌生物グループ 大友　量

(TEL：029-838-8828、E-mail：rotm@affrc.go.jp)

長野県農業試験場 環境部 専門研究員　　上原　敬義

　 （TEL：026-246-2411（代）、E-mail：uehara-takayoshi@pref.nagano.lg.jp）

８．その他

参加申込み等については、長野県農業試験場より別途連絡する。